

平成 26 年度地域福祉活動計画検証チーム会議の報告

1. 地域福祉活動計画検証チームの開催（不定期）

地域福祉活動計画の推進において進行管理・内部評価シートの作成、同計画の取り組みの検証を行った。

市地域福祉活動計画 進行管理・内部評価シート **2015. 3 修正**

基本目標	住民の参加を高めよう（共に気づく、繋がる）	推進目標	①福祉に関心や理解を持てるようにします			
実施計画	福祉を身近に考える取り組みを推進します・・・事業項目毎にシートを作成					
事業関係者	関わってくる者・団体		事業主体	主催者、共催者（委託先、受託者）		
年次推進目標 △=啓発、○=推進 ●=達成、◎=拡充 ×=既存事業廃止 ・新規事業構築 地域毎の達成度が異なる場合は、項目別にシートを作成する。	← 実践・検証 2年 → 26年度 27年度		← どの時点で達成しても良い → 28年度 29年度		達成年度は統一的にしない 30年度	
	市計画と整合 △		達成の第1次目標 ○		市計画と整合をとり、第2次策定へ 31年度 32年度	
計画期間の事業展開	各地域で福祉を身近に考える取り組みを推進するための基盤づくりを重点とし、地域のニーズに即して、多くの人たちがお互いに学び合えるよう地域ぐるみの福祉学習の推進に努めます。← 計画の文言を使う					
平成 26 年度事業の実施状況	①具体的な取り組み（何をどのくらい行ったか）		どのような主体が、どのような取り組みを行っているか、具体的に明記する。事業実績が数字で明記できるものがあれば（チラシの発行など）、数字を記入する。 ・・・・>内容によっては支部の聞き取りが必要。			
A1	②展開に対してどのような成果（結果）があったか		①の結果、どのような成果があったか、事業を行う前と比べどんな変化が起こったかなどを総括して明記する。（前年度との比較）			
進捗評価 □⇒■ A2	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが不十分な点がある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である		課題 B	①事業展開を進めていく上での課題 ②平成26年度の実施状況（A1）、進捗評価（A2）を踏まえ出てくる課題		
課題解決のための改善内容・取組方針	課題(B)の解決に向けた改善内容の目標及び取り組み方針（計画に記載のこれからの取り組みを記載）					

2. 検証チーム員による地域福祉活動計画検証の取り組みのまとめ

ワークショップ形式により、検証チーム員が平成 26 年度の社協の取り組みをまとめた。次頁、地域福祉活動計画で私達職員が進めたこと①・②。

また、取り組みのまとめから、何処が課題であり、どう取り組んできたかを確認した。

（取り組みのまとめ）

- ① 地域福祉については支援関係者（事業者、ボランティア等）との共有は図られている。
- ② 市民の直接的関わりには繋がっていない。⇔市民も地域づくりに関わっている一方、社協職員の実践検証のなかで、福祉の意識啓発の取り組みや支部広報を使った周知、関係者間の連携の中で、少しずつではあるが「地域福祉」の理解を進めようとする取り組みが行われている。⇔市の地域福祉計画策定にも関わっている。
- ③ 支部毎では、地域との繋がりを構築する事業（交流会や懇談会の開催、推進協との連携等）を行うなど、地域福祉活動計画を意識した事業の展開に繋がっている。
- ④ ③を踏まえ、地域を単位とし、事業を見直し、継続するものはただ継続するのではなく、（進んでいないから・今後さらなる充実を求めたい）理由を持ち継続する、又は改廃をして新たな事業として、住民ニーズに対応するなどの動きが出てきている。

地域福祉活動計画で私達職員が進めたこと ①

住民の参加を高めよう
(共に気づく、つなげる)

- ・地域福祉に関わる周知・PR
計画概要版の全戸配布 (講話)
福祉関係機関・団体への計画説明
コミュニティMの活用
- ・支部により地域活動等のPR・周知
- ・地区懇談(座談)会の開催による
情報や課題の共有
- ・福祉まつり等による地域団体(企業会)
との協働
- ・まちづくり協議会等地域団体との
協働と支え合いマップの作成
- ・障がい者の理解を育む学習の推進
- ・福祉体験プログラムの実施と
体験プログラムの作成

住民相互に交流し支援ができる
環境(地域)を創ろう
(共に支える、つくる)

- ・一関市の各種福祉計画の策定に協力
子ども子育て計画、高齢者福祉計画
障がい者福祉計画、地域福祉計画 etc.
横断的な対応について具申した
- ・高齢者の総合相談窓口の充実と
障がい者の相談支援体制整備に向けた
取り組みを推進した
- ・障がい者の地域参加の機会を創出に向け
ボランティアセンター周知のための広報活動
新たなボランティア(社会貢献)活動と
してのミニ活動プログラムの活用
- ・生活困窮者自立促進支援モデル事業実施
- ・推進協等地域団体との協働と事業
開発
- ・子育てサロン助成を通じた子育て支援

地域福祉活動計画で私達職員が進めたこと ②

住民が安心して暮らせるまちを創ろう
(共に行動する、社協の体制強化)

- ・相談事業の実施状況
を確認しつなげていく
- ↓
関係機関との情報共有
(ケース連絡の実施、ワ会議
ほか各種会議への出席 etc.)
- ↓
相談事の解決へ
- ・相談窓口の充実
(相談しあふ関係づくり会)
- ・専門相談の実施
- ・福祉職を目指す学生や
国家資格取得のための実習指導と
体験等の調整

当事者や家庭
との連携

事業所との関係
づくり(支援者の
体制づくり)

地域の役員等
(行政区域長、民生委員 etc.)
との連携

地域の活動や情報収集
し提供

- ↓
地区福祉活動推進協
との連携 → 世代間交流
福祉学習 etc.
- ↓
地区懇談会の開催
- ↓
課題の共有
→ 社協事業
への展開
支え合いマップ
の活用
- 例
買い物支援
バスの運行
買い物支援
石臼事業の
実施

- ・ふれあいのサロン研修会の開催
(介護予防、認知症予防プログラム等の
提供)
- ・見守り活動に関わる関係機関
団体・組織化と見守りの体制づくり

3. 一関市地域福祉計画策定への協力

- ① 市の地域福祉計画策定に係る担当者会議、庁内会議の助言や協力を行うと共に、市民会議(3回実施)に社協職員9名が関わり、地域福祉の課題・解決の話し合いを行った。また、高校生ワークショップでは、高校生の地域福祉への関心を高め、課題解決へ向け、高校生として何が出来るかについての話し合いに助言・協力を行った。
- ② 地域福祉活動計画の推進にかかる、福祉施設と地域との関わりや地域における障がい者の理解等について、福祉施設(障がい者施設11か所、高齢者施設12か所)の訪問調査を実施し、地域福祉活動計画の課題解決につなげると共に、地域福祉計画策定資料として提供した。